

本日公開、長渕剛 20年ぶりの主演映画 「太陽の家」への出資他、各種取り組みに関するお知らせ 20年の時を経て、俳優・長渕剛がスクリーンに蘇る！

この度、KeyHolderグループにおいて映像制作事業を展開する株式会社 UNITED PRODUCTIONS（本社：東京都港区 代表取締役社長 森田篤）及び広告代理店事業を展開する株式会社 allfuz（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 赤塚善洋）におきまして、出資ならびにテレビスポットの取扱いをはじめとする広告代理店業務、さらにシネマ&ライブツアーに伴う会場ブッキング等の多角的な取り組みを実施してまいりました、映画「太陽の家」が本日より TOHO シネマズ 日比谷 他、全国 121 の劇場にて公開されました（※）ので、下記のとおりお知らせいたします。



（※ 一部地域においては2月28日からの公開或いは順次公開となります。）

「太陽の家」は“愛と信念”をテーマに、日本を代表するアーティストであり、シンガーソングライターの長渕剛が1999年公開の映画「英二」から20年ぶりに主演を、監督はテレビドラマ『相棒シリーズ』や『監査役 野崎修平』などで知られる権野元監督が務める映画として2019年4月1日よりクランクインし、同25日にはキャスト発表会見を行い、大きな話題となりました。

さらに、映画史上初めての試みとして、ライブと映画上映が融合したシネマ&ライブツアー「TSUYOSHI NAGABUCHI CINEMA & LIVE 2019 太陽の家」を、2019年10月31日から12月17日にかけて、長渕剛の出身地である鹿児島を皮切りに、全国10か所、全17公演で展開、長渕氏の“劇場公開に先駆け、一足早くファンの皆さんに届けたい”という熱い思いで実現しました。

●作品概要	作品名	太陽の家
	公開日	2020年1月17日(金)
	スタッフ	監督：権野元、脚本：江良至、制作：喜本孝、プロデューサー：遠藤茂行、飛田野和彦、制作：楽映舎
	キャスト	長渕剛、飯島直子、山口まゆ、潤浩、広末涼子、永山瑛太
	主題歌	「Orange」 / 作詞・作曲 長渕剛

あらすじ … 神技的な腕を持つ大工の棟梁・川崎信吾（長渕剛）。普段は強面風な川崎は、やんちゃで人情味の厚い男。そんな川崎が現場で木と向き合えば、職人気質なオーラを放つ。しっかり者の女房・美沙希（飯島直子）と年頃の娘・柑奈（山口まゆ）と共に幸せに暮らす川崎だが、そこは男！好みの女性には少々弱い。いつものように弟子の入江たちと現場で仕事に励んでいるところに川崎が無視できない保険会社の営業ウーマンが通りかかる。彼女の名前は池田芽衣（広末涼子）。独身だと思っていた芽衣には、龍生（潤浩）という名の息子が一人。シングルマザーだった。父親を知らずに育った少年・龍生が気になる川崎。俺が男にしてやる！とばかりに、川崎の血が騒ぐ。半ば強引な川崎になかなか懐かない龍生だったが、徐々に男同士の触れ合いができるまで心を開いていく。そんな折、川崎はこの親子に家を作ろうと思いつくのだが、そんな父親の様子にどうも納得がいかない、娘と妻と信吾の一番弟子の高史（瑛太）。しかし周りの不穏な空気も気にせず、家づくりに没頭する川崎の前に、突如龍生の父と名乗る男が現れて・・・。

公式サイト URL : taiyonoie-movie.jp/

Twitter : twitter.com/TaiyounoieM